

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

基本理念

For Safety For Society を基本理念に、カーボンニュートラルやSociety5.0等…

売上高
250億円営業利益
25億円ROE
15%以上時価総額
150億円

② 中長期の経営戦略

1. 国内EPC事業の成長

太陽光発電設備、電気設備、通信システムの3領域での事業拡大。系統用蓄電所建設工事にも注力。

3. アセアンEPC事業の転換

設計・積算で300名体制構築。ベトナム民間企業から日系・欧米系企業への受注転換と未収入金回収強化により黒字化を図る。

2. 通信システム市場の開拓

国土強靱化5ヵ年計画（～2030年度）約20兆円と防衛施設強靱化4兆円の市場機会を捉え、防災行政無線やCCTV、防衛関連施設の更新工事に展開。

4. 不動産事業モデルの転換

割安物件を取得しバリューアップして不動産価値を高める再生型ビジネスモデルへ転換。ストック拡充により安定収益化。

③ 対処すべき課題

① 太陽光発電領域の拡大

- ・ 2040年に再生可能エネルギー40～50%という目標達成に向け自家消費型と系統用蓄電所需要を獲得
- ・ 再生可能エネルギー増加に伴う事業機会を的確に捉える

② 電気設備工事の人材確保

- ・ 業界全体の人材不足の中、幅広い技術力で引き合いを増加させ受注拡大
- ・ データセンター・物流倉庫増設で需要増加

③ 株主還元と成長投資の両立

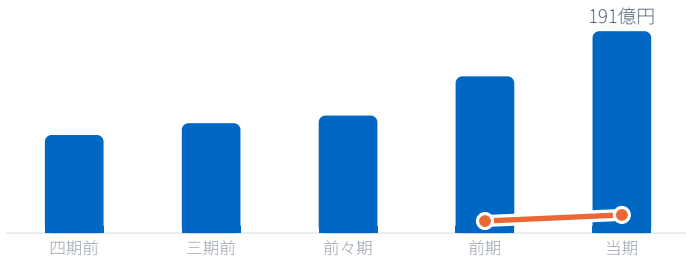
- ・ 2025年8月期配当金40円を下限に配当性向を段階的に引き上げ2028年度40%実現
- ・ M&A資金と人材採用・定着投資の実行
- ・ 株主資本コスト11%を上回るROE継続

面接で使えるポイント

- ・ 基本理念『For Safety For Society』の下…
- ・ 2028年度に売上250億円、営業利益25億円、ROE15%以上という明確な数値目標の達成に向けた成長戦略を展開中。
- ・ 国内EPC3領域と国土強靱化5ヵ年計画約20兆円、防衛施設強靱化4兆円の大規模市場機会を捉えた事業拡大戦略。

証券コード 1434

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
191億円営業利益率
9.0%財務健康度
55点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 49.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
624万円

建設業内 121位/140社

平均年齢
40.2歳

建設業内 121位/140社

平均勤続
10.2年

建設業内 115位/140社

女性管理職
33.3%

建設業内 1位/112社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

